

令和3年8月17日

< 報道関係各位 >

業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高に関する調査結果 (2021年1-3月期分及び2020年度分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施した業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高(2021年1-3月期分及び2020年度分)についてお知らせします。

本調査は、住宅ローン市場の規模を把握するため、当機構（旧住宅金融公庫）が1989年度から日本銀行統計に加え、各業界団体等の協力を得て、取りまとめている業態別の住宅ローン新規貸出額（フロー）及び貸出残高（ストック）に関する調査です。

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページをご覧ください。

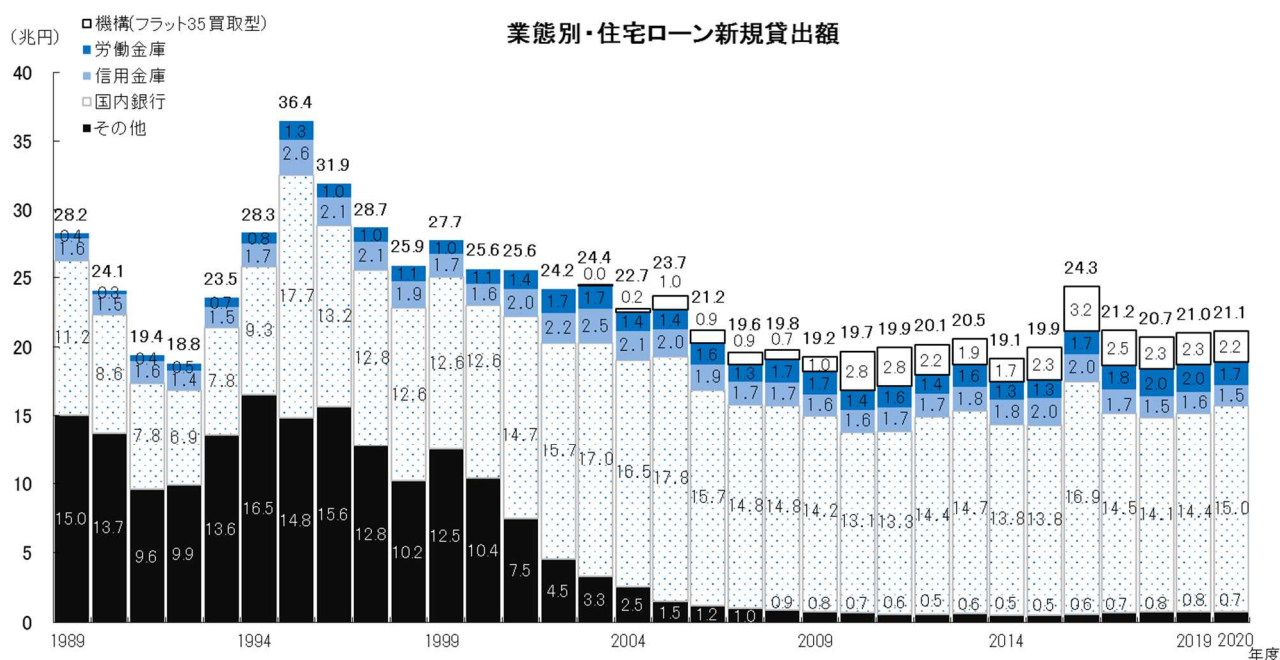
https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_zandaka.html

調査結果の主なポイント

< 住宅ローン新規貸出額（2020年度分）（注1） >

○ 2020年度の新規貸出額（借換えを含みます。）は、**21兆1,014億円と対前年度比で0.5%増加し**、5年連続で20兆円台となりました。

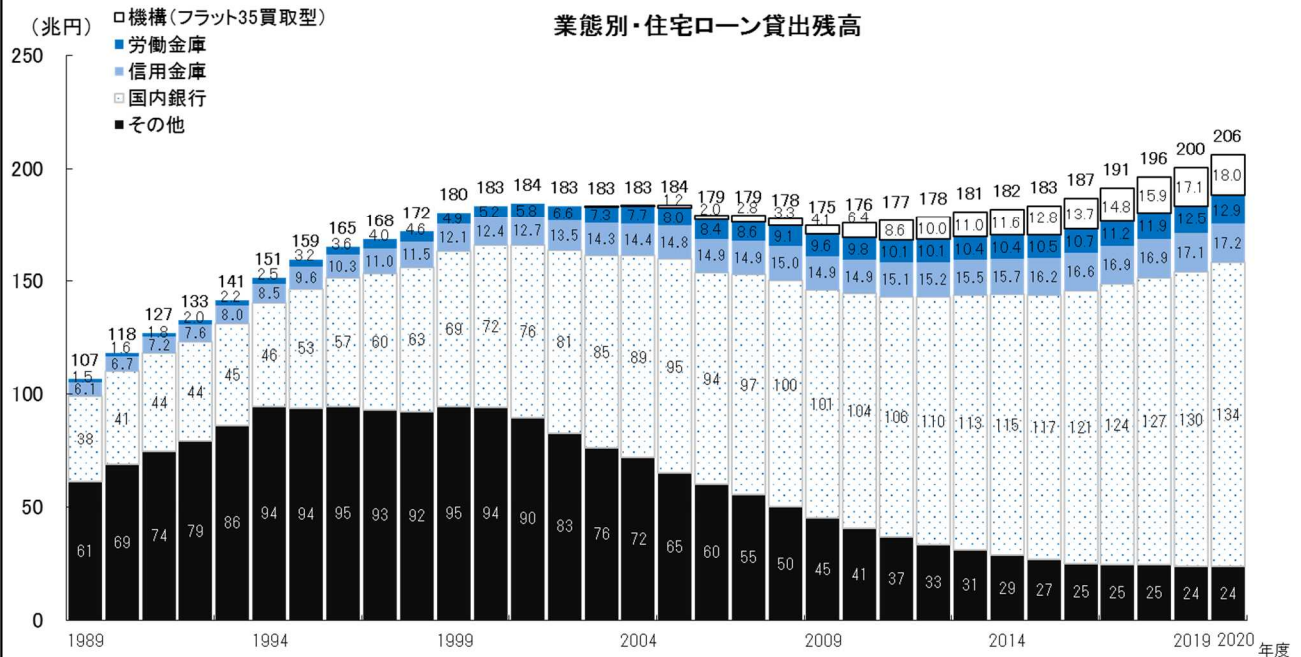
（背景）新型コロナウイルスの影響で住宅着工数が減少したものの、住宅価格の上昇や中古住宅の需要が拡大したこと等による影響が考えられます。



<住宅ローンの貸出残高（2020年度分）（注1、2）>

○ 2010年度以降増加が続いており、2020年度末では**前年度比2.9%増の206兆2,554億円**となりました。

（背景）住宅ローン金利について低金利の環境が続いており、2020年度も新規貸出額が20兆円台と安定して推移したこと等による影響が考えられます。



（注1）日本銀行統計の計数訂正により、2009年4-6月期から2020年10-12月期までの国内銀行の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の値を前回調査時から訂正しております。

（注2）集計対象には、オフバランスにした（住宅ローンを証券化し、貸借対照表に計上していない）貸出残高を含まない可能性があります。

〈報道関係者の方からのお問合せ先〉

経営企画部広報グループ 児玉／井田／永田／水野
TEL：03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp>

(参考)

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp>

■住宅金融支援機構が実施している住宅ローン関連調査（令和3年度 公表予定）

〈フラット35利用者に係るデータ分析〉

(1) フラット35利用者調査（8月）

フラット35利用者の属性、資金計画、住宅等について集計・分析

〈インターネットを通じたアンケート調査〉

(2) 住宅ローン利用者の実態調査（6月、1月頃）

住宅ローン利用者の住宅ローン選びに関する意識や行動、住宅ローン利用予定者の住宅取得に関する意識や行動等を調査

(3) 住宅ローン借換えの実態調査（10月頃）

住宅ローンの借換えを行った方の住宅ローンの金利タイプの変化や借換理由等を調査

〈金融機関へのアンケート調査〉

(4) 住宅ローン貸出動向調査（1月頃）

民間金融機関の住宅ローンの貸出状況、取組姿勢等を調査

〈データ、統計資料等の集計〉

(5) 業態別住宅ローンの新規貸出・残高（8月、10月、1月、3月頃）

金融機関、各業界団体等への照会結果、日銀の統計資料等を集計

※ 今回公表分を下線で示しています。

※ 調査の公表時期、項目及び内容は、変更する場合があります。詳しくはお問合せください。